

平成22年7月11日執行

参議院静岡県選出議員選挙公報

静岡県選挙管理委員会

比例は日本共産党とお書きください

消費税10%の増税許しません 普天間基地は無条件撤去 財界とアメリカにモノがいろいろ政治に

- 後期高齢者医療制度の撤廃
—安心できる医療・介護を
- 派遣法を抜本改正し
「正社員が当たり前」の社会に
- 保育園をふやして待機児を解消
- 中小企業を応援—大企業の下請け
いじめを一掃、町工場への直接補助を

- 食料自給率を早急に50%へ
—安全・安心の食料は日本の大地から
- 震源域の真上にある
世界一危険な浜岡原発停止

消費税増税でなく「2つの聖域」にメスを
財源は
①軍事費やムダな大型公共事業の削減
②ゆき過ぎた大企業・大資産家減税を正す

定数2の静岡から 暮らしと雇用を守る共産党議員が一人は必要です



渡辺 清美

プロフィール
1960年生まれ、49歳。三島市出身。静岡大学教育学部卒業。県中小企業家同友会事務局長、三島公立病院事務局長、伊豆地区委員長など歴任。現在、党書記長。

日本共産党

菅民主党政権は、自民党と「大連立」で法人税引き下げと消費税10%増税を明言。狙いは財政再建でも社会保障の財源でもなく、大企業減税の「穴うめ」です。
「一カ月分の給料が消える」「もう営業できない」など、くらしは限界です。
日本共産党は、国民の立場で、「アメリカいいなり」「財界・大企業優遇」政治を正します。



民主党

- 藤本ゆうじプロフィール
- 現職/国土交通大臣政務官
 - 1957年 浜松市中区上島生まれ
 - (父)藤本市、母は浜松市、妻は裾野市出身
 - 1963年 静岡市立城内小学校入学
 - 1969年 熱海市立第二小学校卒業
 - 1972年 熱海市立第二中学校卒業
 - 1975年 県立沼津東高等学校卒業
 - 1980年 早稲田大学法学部卒業
 - 御殿場の富士牧場公園入社
 - 1989年 ミシガン州立大学大学院
コミュニケーション学修士課程修了
三和総合研究所入社
 - 国土・地域政策部長兼主任研究員
専門は地域振興(特に観光、まちづくり)
 - 2004年より参議院議員(静岡県選出)現在に至る
 - 2006年より静岡大学客員教授(現在に至る)

経済再建!!!

- 1 政治をわかりやすくします
国民の皆さんが「何が正しく何が間違っているのか」「この公共事業は実施する必要があるのか」「何が無駄なのか」を判断できるように、できるだけ多くの正確な情報を公開します。また、国の取り組みや政策を、国民の皆さんにわかりやすく説明し、透明性の高い身近でわかりやすい政治にしたいです。
- 2 住民参加で国や地域を元気にします
経済効果や雇用創出効果が高い観光政策や農工商政策を進めたいです。活発な取り組みを推進します。それらの取り組みは、従来のように行政が計画・実施主体となるのではなく、企業・NPOなど多様な民間主体と行政の連携・協働による「新たな公共」が主体となる取り組みを進めます。また、地域が自律的な地域経営を進めるために必要な情報・財源・人材を、地域に移管する取り組みも進めます。
- 3 安心と活力のある社会を創ります
企業の技術開発や研究開発を支援する「人材育成」や、足腰の強い産業に再生する「働く場の創出」を推進します。生活の経済的安心を創ります。また、ワーク・ライフ・バランスに配慮した休暇制度など、心の豊かさを実感し、充実した生活を実現するための制度づくりを意欲的に取り組めます。



藤本ゆうじ

1957年 浜松市生まれ

民主党公認
現職/国土交通大臣政務官

藤本ゆうじオフィシャルウェブサイト <http://www.fujimoto-yuji.org/>

すべての人が生きがいを持てる国を、「声をチカラに。」 あなたとともにつくっていききたい。



中本なおこ

「声をチカラに。」

民主党公認

中本なおこの3つの約束。2つの提言。

約束① 国民目線の政治
政治家ではない私だからこそ、皆さんと同じ目線で物事を見て、同じ感覚で感じることができると思っています。国民目線で政治を透明化し、固定観念なく税金の使い方を検証し、国民にわかりやすく身近に感じられる政治を行います。

約束② 未来を育てる政治
子どもたちは日本の未来を担う宝です。単に親だけに子育ての責任を負わせるのではなく、社会みんなで子育てと教育を支える仕組みを整備し、地域の中で子どもたちが健やかに成長していける社会をつくりたい。

約束③ 女性が輝ける働きやすい社会をつくる政治
私も社員として働いていましたが、他の先進諸国に比べると女性が活躍する機会が少なく、パートや派遣社員としての勤務が多くみられます。女性の能力を正当に評価し、活躍の場を広げ、妊娠中や出産後も働きやすい環境を整え、女性が輝ける社会をつくりたい。

【提言1】安心を与える政治
私は中学生のころ兵庫県神戸市東灘区で阪神淡路大震災に被災しました。そのとき多くの救済に感謝しましたが、同時に必要なものや救済内容とのずれを感じました。こうした自らの経験を活かし、災害対策のあり方を検討し、安全で安心な生活を送ることが出来る国をつくりたい。

【提言2】若手人材を育成する政治
国際社会の中で、日本が競争力を持ち生き残っていくには若手人材の育成が急務です。中小企業やベンチャーへの育成支援の拡充や、産学連携の強化など、私が大学と企業での研究者としての経験を活かし、若手の代表として現場第一の人材育成環境をつくりたい。

日々の活動の中で、皆さんが口を揃えて言う言葉を直接伺っています。
子育てのこと、地域のこと、生活のこと、不安や不満の声を多く聞きます。
この不安を取り除き、安心を与える社会のしくみを「私も一人一人が実現したい」と思っています。
皆さんの声を国政へ届けたい。そして政策に反映させたい。
その思いが私を突き動かしています。
昨年の政権交代によって、ちやちや動き出した日本の政治が止まってしまわないよう、皆さんとともに皆さんの声をチカラに全力で取り組んで参ります。
どうか皆さん、私中本なおこに、二度お力を貸してください。
届けます！あなたの声。

詳しくはコチラまで▼
www.n-naoko.com
中本なおこ 検索

1979(昭和54年)6月4日、兵庫県加古川市生まれ。
大阪府立大学大学院工学研究科の博士課程を修了後、小さい頃から「ちびまる子ちゃん」で働いていた静岡県に移り住み、半導体材料メーカー-AZエレクトロニクス社に勤務。
昨年の民主党候補者公募に応募し、今年4月に参議院静岡県選出区公認候補に決定。
大きな声で特徴で、得意料理はカレーライス。夫はスズキ(株)に勤務してあり、現在、2人で御殿市に在住。

平成22年7月11日執行

参議院静岡県選出議員選挙公報

静岡県選挙管理委員会

会

幸福実現党

メディア

自民党公認

民主党公認

幸福への旅をはじめよう!

10.7.11.

現政権から
幸福ゆき
未来がある限り有効
下車前途無効
幸福実現駅発行

現政権 → 幸福



幸福実現党

<http://www.hr-party.jp>

比例代表は「幸福」とお書きください

幸福実現党なら、今の日本を新しくすることができます!

- I 雇用と収入**
新しい基幹産業をつくり、公共投資・大減税・規制緩和で5~7%の名目成長を実現
- II 安全**
日米同盟を強化、独自の防衛体制も整える
- III 学力**
公立学校を復活させ、世界最高水準の学力を目指します

完全失業者 323万人 → 1000万人以上の雇用を創出 → 21年間で中国の軍事予算は20倍 → 覇権主義に屈しない毅然とした国家を築く → 学力の国際順位が大幅下落 → 主要科目で世界1位を獲得する

[中野雄太プロフィール] 1974年生まれ。2000年早稲田大学大学院経済学研究科修了(経済学修士)。同年、(宗)幸福の科学入局。ニューヨーク勤務などを経て、2009年12月幸福実現党静岡県本部参議院選挙区代表。

中野雄太 ホームページ ▶ <http://nakano-yuta.hr-party.jp/>



幸福実現党
なかの ゆうた
中野雄太
(36歳)

見えないからこそ、見えるものがある。

パラリンピック 金メダリスト

かわい純一 プロフィール

生年月日：昭和50年4月19日 (35歳)
1990年 15歳のとき金賞となる
1992年 パルセロナパラリンピック(銀2、銅3)
1996年 アトランタパラリンピック(金2、銀1、銅1)
1997年 早稲田大学教育学部卒業
舞岡中学校に教師として着任
2000年 シドニーパラリンピック(金2、銀3)
2004年 アテネパラリンピック(金1、銀2、銅2)
2008年 静岡県総合教育センター指導
主事として着任
北京パラリンピック(銀1、銅1)
アジアパラリンピック委員会
選手委員会副委員長
2010年 東京大学教育学研究科附属
バリアフリー教育開発研究
センター協力研究員

モバイルサイト

<http://your-kawai.net/>

失明してゆく恐怖と、夢との出会い
私は生まれつき視力が弱く、15歳で完全に失明しました。少しづつ見えなくなっていくことは、子どもの私にとっては大きな恐怖でした。しかし、周りの方々の支えのおかげで、パラリンピックへの挑戦や、教師を目指しての勉強など、夢を見つけることができました。

苦難を乗り越えることで見つけたもの
ふるさと静岡県で教師として採用されましたが、子どもたちの顔が見えないことに悩みました。テープに録音した子どもの声を毎日聞いて記憶し、何とか多くの子どもたちを送り出すことができました。

苦難の先には必ず喜びが待っていることを再認識しました。
子どもは金メダル以上の存在
また、最近結婚をして、子どもができました。子どもが生まれた時の喜びは、金メダルを取った時よりもずっとずっと大きなものでした。

私が生まれたときに同じように育てられたことを思うと、親への感謝は尽きません。

先が見えない時代だからこそ、私の役割がある!
いま、我が国は困難を迎えています。先が見えない時代に、政治家は方針に迷い、発言がブレ、国民の信頼をなくしています。

私は目が見えませんが、皆様の声を信じ、自分の信念に従って、確実に前進することができました。

こんな時代だからこそ、見えない中で生きてきた私の強さが求められていると考えています。

これからも、皆さまと共に汗を流す姿勢を貫きます。どうか、あなたの一票を託してください。



静岡県選挙区
みんなの党公認
かわい純一
じゅんいち
35才全盲の
熱血教師



自由民主党公認
岩井しげき
いわい

もう「過去」には戻さない!
岩井しげきの「変えるチカラ」に託してください。

私は「保守一徹」を旗印に県内を駆け巡ってきました。日本の良き歴史・伝統・文化、家族や地域の絆、創造的な産業、精緻なものづくり。守るべき日本が今、危機に瀕しています。本心に守るべきものを守るためには、政治が変わらなければなりません。「何とか流れを変えてほしい」「自民党よ、しっかりしてくれ」そんな静岡県民の切なる思いを受けて、岩井しげきは挑戦します。

もう、過去の自民党には戻させません。古い政治の姿にも戻させません。景気の低迷に打つ手なしという政治にも戻させません。私が参議院選挙で勝利することは、自民党を変え、今の政治の流れを変え、日本の未来を切り開くことを意味します。

岩井しげきが、皆さんの「変えるチカラ」になります。岩井しげきの挑戦に、あなたのチカラを貸して下さい。

変えるチカラ



いつも「現場主義」の岩井しげき・五つの約束

- 一・自民党を変えるー古い政治に決別ー 若手が前面に立ち、十年、二十年先の日本に責任の持てる自民党へ生まれ変わります。
- 二・政治の流れを変えるー「今を変えなければ」「選挙に勝ちさえすればいい」表紙を飾る「スラッシュ」を「今を変えなければ」「選挙に勝ちさえすればいい」表紙に必要なら雇用を確保。若者が将来に夢の持てる経営を実現します。
- 三・社会信頼を安心に高めるー 医療・介護現場で働く人々の処遇改善に努め、社会保障の質を確保。消費税を含めた財源の問題にも真面目に取り組みます。
- 四・静岡の未来を築くー豊かな自然、食料は静岡の財産。日本の品目数二百十九からなる多様な農林水産物の魅力を日本世界へ発信。「メイド・イン・静岡」で静岡の未来を築きます。

PROFILE

岩井茂樹 (いわい しげき)
昭和43年6月2日生まれ(42歳)
静岡県沼津市在住
身長:183cm 体重:82kg
足の大きさ:29cm
【最終学歴】国立名古屋大学大学院 卒業
【経歴】
H8.4~16.10 建設会社勤務
H16.11~19.7 参議院議員岩井田部事務所
H18.4~22.3 富士常葉大学 非常勤講師
H21.10 自民党公認により参議院静岡県補欠選挙の候補者に選出され挑戦するが、惜敗
H21.12.28 自由民主党静岡県大会において第22回参議院選挙選挙静岡県選挙区候補者として公認を受ける

【現職】
自由民主党静岡県参議院選挙区第四支部長
【趣味】陶芸・オートバイ・スキューバダイビング・バスケットボールなど
【特技】水泳(ジュニアオリンピックに出場)
【主な活動】
H19年度(社)沼津青年会議所 理事
沼津商工会議所青年部 会員
東駿河湾まちづくり研究会メンバー
TOKYO 自民党政経塾 第三期生
静岡県政治塾 第一期生
第6回「国際政治・外交論文コンテスト」自由民主党国際局長賞 受賞
(H21年1月に自民党総裁より表彰)

比例代表では「自民党比例候補者名」か「自民党」とお書きください。